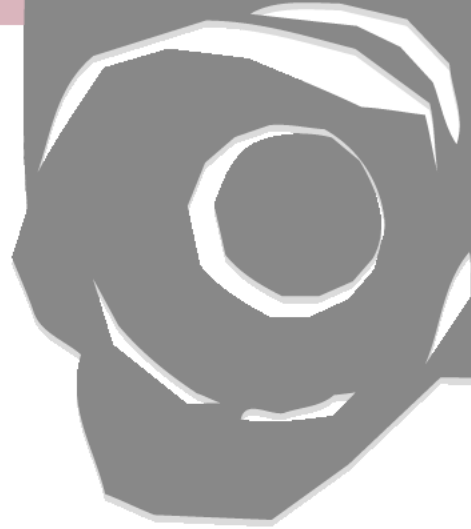




まちかど

写真館



備中櫓が完成!

備中櫓復元落成記念式

3月19日 津山城跡(鶴山公園)



平成14年1月の工事着手から3年をかけ、備中櫓がついに完成。翌日から2日間鶴山公園が無料開放され、約6,800人が備中櫓を見学しました。

また、この日から天守台にはイルミネーションも出現しています。



今月の
フラッシュ+

多くの人々に支えられて50年

ときわ園創立50周年記念祝賀会 3月12日 ときわ園

半世紀にわたり、延べ800人を超える人々が生活を送った高齢者福祉施設「ときわ園」。地域の人々や大勢のボランティアに支えられて歴史を刻んできました。

この日は、歴代の園関係者や入園者など約140人が出席。これまでクラブ活動の指導や地域交流、慰問活動などにより、ときわ園を支えてきた関係者や団体に感謝状を贈りました。

感謝状を受けた津山商業高校演劇部の丸山静香さんは、「少しでも入園者の励ましになればと演劇慰問を行っています。公演の後に『ありがとう』と手を握られると、胸が熱くなり、逆に励まされます」と話しました。

心が通い合う多くの人々に支えられ、入園者も新しい時代に向かって充実した生活が送られることでしょう。





博物館特別展始まる

津山松平藩とその系譜

3月19日 津山郷土博物館

徳川家康の次男・結城秀康を祖とする松平家。元禄11年(1698)、津山城十万石を与えられて津山松平藩は誕生しました。

その松平藩にかかわりの深い品々と徳川家一門の系譜を展示した特別展。会期は5月8日までです。

春を告げる風物詩

松のこも焼き

3月5日 衆楽園

冬ごもりの虫たちが、冬眠から覚めてはい出どころといわれる「啓ちつ」のこの日、恒例となった松のこも焼きが紅葉島で行われました。

市観光協会の職員が、園内の松約80本に巻いていたこもを取り外し、集めて点火すると火はパチパチと音を立てながら勢いよく燃え上がりました。

こも焼きは、伝統的な早春の行事として受け継がれています。



一人ひとりの声を集めて世界も動く!

津山城築城400年記念講演会「春の巻-弐」

3月12日 ベルフォーレ津山

「地球・世界・日本・そして一人ひとり」と題して評論家の大宅映子さんが講演。

温暖化、日本経済の状況など地球規模の事柄や自らが務める審議会や調査会でのエピソードを交え、お役所主導の問題点などを独自の切り口で分析。「これからの時代、一人ひとりが自己責任を持ち『自分でやる!』と言える人が増えてほしい、一人ひとりの意識がどれだけ変われるか、今からスタート」と語りました。

参加した約450人の聴衆は、ユーモアあふれる大宅さんの話に聴き入っていました。

